

「2016年度 活動方針」

現状と課題

- 正会員は516名
日本ユネスコ協会連盟（以下、日ユ協連）に提出される現況報告をもとに、全国的青年連絡組織（以下、全青連）正会員名簿を作成。今年度の正会員は516名。
- ⊕ Facebookページを作成
個人アカウントからFacebookページに移行し、全青連ウェブサイトの情報や、日ユ協連・各地ユネスコ協会、関係諸団体のページの情報をシェアしている。
- ⊖ 認知されていない
ユネスコ協会・クラブに所属するすべての青年が全青連の会員だということや、全青連の存在そのものが、ユネスコ協会・クラブの大人のみならず、青年自身にも知られておらず、正会員名簿の作成や総会の運営に支障が出ている。
- ⊖ まだまだ地域の青年のことを知らない
正会員名簿に記載されているにもかかわらず、活動やそこで活動する青年のことを把握できていない地域がある。これは連絡組織としての機能を十分に果たせていないと言える。

課題解決のための方策

- ネットワーク強化のためのチームづくり
全青連運営メンバーや青年評議員有志を中心に、ネットワーク強化のためのチームを編成する。チームメンバーは広く募集する。
チームは、まだ顔の见えていない青年とのコミュニケーションをはかったり、活動訪問を企画したりする。
- 地域別交流会企画等の支援
青年同士、青年組織同士のコミュニケーションを促進する。これによって、青年ユネスコ活動全体の活性化が期待できる。
- ブロック研究会での周知
ブロック研究会での全青連に関するプレゼンテーションや、参加している青年との交流、情報交換を行う。
- ウェブサイト、Facebookページでの情報発信
コンテンツ担当者を増やし、内容の充実をはかる。